



検査項目のご案内

謹啓 時下ますますご清栄のことと、お喜び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。
下記項目につきまして、ご案内申し上げます。

謹白

記

検査項目：尿中アルブミン

●糖尿病性腎症の早期診断のために

アルブミンは肝臓で産生される分子量 66kD の単純蛋白で、各種物質と結合して搬送する役割を担っています。通常、尿中には殆ど検出されませんが、腎糸球体や腎尿細管に障害が起るとアルブミンが尿中に排泄されるようになります。

糖尿病性腎症では初期段階において血糖や血圧のコントロールを厳格に行うことにより尿中への微量アルブミンの排泄が減少し、腎症の発症・進行を抑制できると言われています。

本検査は尿中の微量アルブミンを検出・定量するもので、尿中アルブミンの定量は、糖尿病性腎症の発生予知に有用です。

〔糖尿病腎症病期分類〕

糖尿病治療ガイド 2023-2024 より

病 期	尿アルブミン値 (mg/gCr) あるいは 尿タンパク値 (g/gCr)	GFR (eGFR) (mL/分/1.73 m ²)
第 1 期 (腎症前期)	正常アルブミン尿 (30 未満)	30 以上
第 2 期 (早期腎症期)	微量アルブミン尿 (30~299)	30 以上
第 3 期 (顕性腎症期)	顕性アルブミン尿 (300 以上) あるいは 持続性タンパク尿 (0.5 以上)	30 以上
第 4 期 (腎不全期)	問わない	30 未満
第 5 期 (透析療法期)	透析療法中	

●受託要領

	尿中アルブミン随時尿	尿中アルブミン蓄尿
検査項目コード	1082	0082
検査項目名	尿中アルブミン随時尿	尿中アルブミン蓄尿
検査方法	免疫比濁法	免疫比濁法
基準値	18.0 以下 mg/g・Cre	22.0 以下 mg/day
検 体	随時尿 1.0ml	蓄尿 1.0ml
保存温度	冷蔵	冷蔵
容 器	⑫ 尿スピッツ	⑫ 尿スピッツ
実施料/判断料	99 点/尿便 34 点	99 点/尿便 34 点
備 考		蓄尿量を記入

※糖尿病又は糖尿病性早期腎症患者であって、微量アルブミン尿を疑うもの（糖尿病性腎症第 1 期又は第 2 期のものに限る）に対して行った場合に、3 か月に 1 回に限り算定できる。

なお、尿中アルブミン定量(1082、0082)、尿中トランスフェリン(1155)、尿中Ⅳ型コラーゲン(4400)を同時に行った場合は、主たるもののみ算定する。

※病名は「糖尿病」でかつ「糖尿病性腎症の疑い」または「早期糖尿病性腎症」が必要です。



より正確に！
より迅速に！

地域に密着した検査体制

<http://www.city.gifu.med.or.jp/kensa>

登録衛生検査所

一般社団法人

岐阜市医師会臨床検査センター

電話 058-255-1040